

「令和6年度ぎふ結のもり防災教育フェア」に移動電源車などの支援機器を出展

東海総合通信局（局長：三田 一博）は、令和6年11月9日（土）、ぎふ結のもり及び岐阜県庁駐車場等で開催された「令和6年度ぎふ結のもり防災教育フェア」において、災害時に地方公共団体や民間事業者（電気通信事業者及び放送事業者）に貸し出す移動電源車^{注1}、及び移動通信機器^{注2}（衛星携帯電話、簡易無線機、衛星インターネットアクセスシステム（スターリンク）等）の展示を行いました。また、当局の移動電源車から国土交通省多治見砂防国道事務所が展示した降雨体験車に対して電源を供給する訓練を行いました。

本フェアは、県民一人一人に災害や緊急時の備えを呼びかけている岐阜県が、県民の防災を学ぶ機会の充実・強化のために毎年開催しているものです。当日は、天候に恵まれたこともあり、大勢の家族連れが来場しました。

来場者からは、移動電源車及び移動通信機器について、令和6年1月の能登半島地震での活用や、移動通信機器の利用方法について質問が寄せられ、発災時における移動通信機器等の備えへの関心の高さがうかがえました。

東海総合通信局では引き続き、様々な機会を捉えて東海総合通信局の防災・減災への取組に対する皆様のご理解を深めていただけるよう努めるとともに、地方公共団体や民間事業者等が被害情報の収集や応急復旧活動を迅速に行えるように、多様な情報伝達手段の確保を図ってまいります。

注1：移動電源車は、地方公共団体が運用する防災行政無線や民間事業者が運用する携帯電話基地局等への電力供給が途絶して重要な情報通信ネットワークの機能維持に支障が生じた場合に備え、当該団体等への貸出用として当局に配備されています。

注2：移動通信機器は、地方公共団体等による被害情報の収集や応急復旧活動に不可欠な通信を確保するため、当該団体等への貸出用として当局に配備されています。

お問い合わせ先： 防災対策推進室 052-715-5008



移動通信機器等の展示



移動電源車の展示



東海総合通信局ブースの来場模様